

2 沿革と主な施設整備年表

京都大学大学院理学研究科附属天文台は花山天文台と飛騨天文台より構成されています。

花山天文台は、昭和4年の創設以来、太陽や月・惑星・彗星・小惑星など、我々に最も身近で関係の深い太陽系宇宙の教育研究を中心として、天文学の発展と普及に貢献して来ています。現在では特に、太陽活動現象や宇宙磁気プラズマ活動現象の解析センターとしての役割を担うと共に、大学院学生及び学部学生に対する教育観測実習を実施しています。

飛騨天文台は、昭和43年に、日本の屋根と呼ばれる中部山岳地帯に設立され、青く澄んだシーイングの良い大空の下、世界第一級の高分解能をもつドームレス太陽望遠鏡、東洋一のレンズをもつ65 cm 屈折望遠鏡等を用いて観測の最前線に立ち、次々と新しい成果を挙げると共に、他大学や国立天文台等、他機関の研究者や学生にもこれらの大型装置を公開してしています。

昭和4年10月	花山天文台設立
昭和16年7月	生駒山太陽観測所(奈良県生駒郡生駒山)設立
昭和33年4月	花山天文台及び生駒山太陽観測所を理学部附属天文台として官制化
昭和43年11月	飛騨天文台設立 宿舎、本館、60 cm 反射望遠鏡ドーム完工、60 cm 反射望遠鏡を 花山天文台より移設、開所式挙行
昭和47年4月	飛騨天文台に、65 cm 屈折望遠鏡及び新館完成、竣工式挙行
昭和54年5月	飛騨天文台に、ドームレス太陽望遠鏡完成、竣工式挙行
昭和55年3月	花山天文台に、新庁舎完成
昭和63年3月	飛騨天文台の、ドームレス太陽望遠鏡駆動コンピューター更新
平成3年3月	飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡塔体パネル営繕工事完了 飛騨天文台15 m ドーム駆動装置営繕工事完了
平成4年3月	飛騨天文台に、太陽フレア監視望遠鏡及びドーム完成 花山天文台5 m ドーム営繕工事完了 花山天文台にモザイク回折格子制御装置設置(太陽館分光器室)
平成5年3月	花山天文台9 m ドーム営繕工事完了
平成6年3月	花山天文台太陽フレア観測望遠鏡格納庫仮設
平成7年10月	飛騨天文台専用道路落石防護工事施工
平成8年3月	花山天文台にデジタル専用回線導入
平成8年11月	飛騨天文台研究棟及び管理棟外壁等改修工事施工
平成9年3月	飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡に高分解能太陽磁場測定装置新設 飛騨天文台60 cm 反射望遠鏡カセグレン焦点に分光器設置 飛騨天文台60 cm 反射望遠鏡7 m ドーム駆動部改修工事施工
平成10年3月	飛騨天文台60 cm 反射望遠鏡赤道儀駆動部改修工事施工
平成10年10月	飛騨天文台専用道路に光ケーブル敷設工事施工。 高速データ通信回線(384 Kbps) 開通
平成11年3月	花山天文台18 cm 屈折望遠鏡に太陽 H α 単色像デジタル撮影システム完成
平成11年11月	花山天文台デジタル専用回線を128 Kbps から1.5 Mbps に高速化